

2023年11月7日

各 位

会社名 株式会社さいか屋  
代表者名 代表取締役社長 山野井 輝夫  
(コード番号 8254 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 中野 宏治  
(TEL. 046-822-8046)

(訂正・数値データ訂正)「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、2023年10月13日に開示した「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データも訂正となりますので、訂正後の数値データも送信いたします。

## 記

### 1. 訂正の理由

「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に開示内容の一部に誤りが判明したため、これを訂正するものです。

開示内容の一部に誤りが発生した原因につきましては、本日開示いたしました「第91期有価証券報告書の訂正報告書の提出及び決算短信の一部訂正に関するお知らせ」のとおり、過去の事業年度における有形固定資産減価償却計算に関わる会計処理に誤りが判明したことによるものです。

### 2. 訂正の内容

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正した箇所に下線を付して表示しております。

以 上

2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月13日  
東

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所  
 コード番号 8254 URL <https://www.saikaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山野井 輝夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 中野 宏治 (TEL) 046 (822) 8003  
 定時株主総会開催予定日 2023年11月30日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年11月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期の連結業績 (2022年9月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	5,204	—	144	—	132	—	9	—
2022年8月期	2,416	—	△69	—	△79	—	△82	—

(注) 包括利益 2023年8月期 △5百万円(—%) 2022年8月期 △43百万円(—%)

(注) 1. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、6か月間(2022年3月1日~2022年8月31日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、当期及び前期とも対前期増減率は記載しておりません。

2. なお、参考として、前年12か月(2021年9月1日~2022年8月31日)と対比した場合は次のとおりです。

売上高：対前期比109.9%

営業利益：対前期比—% (343百万円増による黒字転換)

経常利益：対前期比—% (358百万円増による黒字転換)

親会社株主に帰属する当期純利益：対前期比—% (255百万円増による黒字転換)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	1.97	1.51	1.7	1.1	2.8
2022年8月期	△16.66	—	△14.2	△0.6	△2.9

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期 一百万円 2022年8月期 一百万円

(注) 前連結会計年度潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	12,153	576	4.7	△33.34
2022年8月期	12,151	581	4.8	△32.27

(参考) 自己資本 2023年8月期 604百万円 2022年8月期 608百万円

(注) 1株あたりの純資産額は「期末純資産額604百万円-期末発行済優先株式発行価額741百万円=△137百万円」を、期末発行済株式数(自己株式を除く)で除して算出しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	367	△135	△3	1,784
2022年8月期	101	△28	△1	1,556

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			百万円	%
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%	
2022年8月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—	
2023年8月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—	
2024年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—	

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,451	△13.0	129	182.6	117	205.3	67	—	13.72
通期	4,554	△12.5	214	48.5	192	45.4	92	849.3	18.67

（注）通期 売上高：対前期比87.5%  
 営業利益：対前期比142.7%  
 経常利益：対前期比139.3%  
 親会社株主に帰属する当期純利益：対前期比860.6%

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

期中における重要な子会社の異動に関する注記

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 有  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期	4,970,314株	2022年8月期	4,970,314株
② 期末自己株式数	2023年8月期	16,064株	2022年8月期	15,969株
③ 期中平均株式数	2023年8月期	4,954,305株	2022年8月期	4,954,360株

発行済株式数に関する注記

（参考）個別業績の概要

1. 2023年8月期の個別業績（2022年9月1日～2023年8月31日）

（1）個別経営成績（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	5,199	—	139	—	126	—	4	—
2022年8月期	2,413	—	△73	—	△84	—	△85	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年8月期	0.91		0.70					
2022年8月期	△17.19		—					

（注）前事業年度は決算期変更の経過期間となり、当社は6ヶ月（2022年3月1日～2022年8月31日）の変則的な決算となっております。このため、対前期増減率は記載しておりません

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年8月期	11,898		451		3.8	△58.64		
2022年8月期	11,863		461		3.9	△95.07		

（参考）自己資本 2023年8月期 451百万円 2022年8月期 461百万円

2. 2024年8月期の個別業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	2,451	△12.9	130	218.7	118	252.8	68	—	13.93
通期	4,554	△12.4	217	55.9	195	54.3	95	2,030.0	19.27

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(表示方法の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. 補足情報 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

第84期連結会計年度より8期連続で計上し続けた多額な赤字経営を解消すべく、今年度より抜本的な経営スキーム改革による黒字体質への早期転換を目指しており、その将来投資として事業構造改善費用を計上したものの、それを上回る事業利益を叩き出し、9期ぶりの黒字転換となりました。

第1四半期に開催した「創業150年記念感謝還元祭」、第2四半期に開催した「大幅改装のための改装売りつくしセール」が売上高増に寄与。第3四半期は、大型家電量販店であるヤマダデンキ開店に向けた改装工事（既存店舗の再編含む）の影響で藤沢店の売上高が減少したものの、第4四半期以降、6月2日のヤマダデンキ開店にて増加した入店客数により、百貨店ゾーンとの相乗効果が得られたことに加え、賃料収入が拡大いたしました。

また、通期を通して行ってきた金地金買取の好調に加え、グループのシナジー効果を活用した販売促進企画（健康食品の通販広告を神奈川新聞に掲載する等）や、各お取引様との取引条件改定交渉を実施する等、様々な取組みにより抜本的な経営スキームの改革が進んでおります。

以上の結果、当連結会計年度の連携業績につきましては、売上高は5,204百万円（前年12か月（2021年9月1日～2022年8月31日）対比109.9%）、営業利益144百万円（前年12か月（同）対比343百万円の営業利益の改善）、経常利益132百万円（前年12か月（同）対比358百万円の経常利益の改善）、親会社株主に帰属する当期純利益9百万円（前年12か月（同）対比280百万円の親会社株主に帰属する当期純利益の改善）となり、通期での黒字化を実現しました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態に関し、総資産については、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し12,153百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、11,576百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し576百万円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ227百万円増加し、1,784百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、367百万円の収入（前連結会計年度は101百万円の収入）となりました。主な収入項目は、減価償却費336百万円、主な支出項目は、事業構造改善支出72百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、135百万円の支出（前連結会計年度は28百万円の支出）となりました。主な支出項目は、長期前払費用の取得による支出93百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3百万円の支出（前連結会計年度は1百万円の支出）となりました。主な支出項目は、リース債務による支出3百万円等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2022年8月期	2023年8月期
自己資本比率 (%)	11.8	4.6	3.5	4.8	4.7
時価ベースの自己投資比率 (%)	9.3	7.9	9.5	13.2	15.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	36.9	—	—	85.2	23.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1.4	—	—	7.7	13.9

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己投資比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュフロー計算書の利息の支払額を使用しております。

4. 2021年2月期及び2022年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

2023年8月期より開始した抜本的な経営スキームの改革により黒字を達成したものの、改革は始まったばかりであり、黒字体質への早期転換に向けた取り組みをさらに進めていく必要があると考えております。

今後におきましても、全社的な既存店舗の再編、グループシナジー効果を活用した各種施策の実行、金・地金買取の強化を継続的に推進するとともに、藤沢店では2023年6月にオープンしたヤマダデンキとの相乗効果を狙った企画の強化、横須賀店では現在進行中である地下1階リニューアルなどにより、収益の拡大に努めてまいります。外商部門におきましては、引き続き高収益商材の販売強化や新規顧客(法人・個人)へのアプローチ強化に注力してまいります。

このほか、調達コストの低減、基幹業務の抜本的な見直し等を通じて「ローコストオペレーション」の推進を更に推し進め、コスト削減をはかってまいります。

以上のことにより、次期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高4,554百万円、連結営業利益214百万円、連結経常利益192百万円、親会社株主に帰属する当期純利益92百万円をそれぞれ見込んでおります。なお、業績予想において、2024年8月期の売上高が前年を下回っておりますが、これは、テナント拡大に伴う「百貨店売上高」の減少によるもので、逆に収益においては賃料収入の増加及び百貨店事業運営に関わるコストの低減が見込めることから、増収の予想となっております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。将来のIFRS（国際財務報告基準）の適用について、国内外の動向も踏まえて、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,556,825	1,784,800
売掛金	412,673	430,637
商品	459,873	367,634
貯蔵品	44,383	39,281
その他	179,623	320,223
流動資産合計	2,653,380	2,942,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,779,014	2,471,841
土地	4,563,475	4,563,475
リース資産（純額）	10,693	7,225
その他（純額）	29,672	25,636
有形固定資産合計	7,382,855	7,068,178
無形固定資産		
その他	14,675	14,393
無形固定資産合計	14,675	14,393
投資その他の資産		
投資有価証券	270,486	252,895
長期貸付金	3,000	3,000
敷金及び保証金	1,452,404	1,403,547
破産更生債権等	12,512	12,286
長期前払費用	312,812	406,310
その他	62,175	62,175
貸倒引当金	△12,460	△12,270
投資その他の資産合計	2,100,930	2,127,945
固定資産合計	9,498,461	9,210,517
資産合計	12,151,841	12,153,094



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	19,108	—
買掛金	1,047,452	938,116
未払法人税等	12,173	20,247
賞与引当金	13,412	11,497
契約負債	952,203	875,564
その他	337,685	330,072
流動負債合計	2,382,036	2,175,498
固定負債		
長期借入金	8,655,000	8,655,000
退職給付に係る負債	298,569	264,771
資産除去債務	165,430	168,691
リース債務	7,947	4,106
その他	61,220	308,687
固定負債合計	9,188,167	9,401,257
負債合計	11,570,203	11,576,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,195,768	2,195,768
資本剰余金	1,887,556	1,887,556
利益剰余金	△3,446,783	△3,437,039
自己株式	△43,251	△43,284
株主資本合計	593,289	603,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,651	△26,662
その他の包括利益累計額合計	△11,651	△26,662
純資産合計	581,637	576,338
負債純資産合計	12,151,841	12,153,094

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高	2,416,540	5,204,675
売上原価	897,820	2,082,740
売上総利益	1,518,719	3,121,935
販売費及び一般管理費		
販売費	88,672	173,967
広告宣伝費	141,249	267,005
給料及び手当	436,243	796,115
賞与	—	11,655
賞与引当金繰入額	△226	△1,915
退職給付費用	15,928	25,953
その他の人件費	68,856	143,122
地代家賃	255,226	499,471
委託作業費	137,142	256,663
減価償却費	181,665	299,141
その他	262,966	506,603
販売費及び一般管理費合計	1,587,726	2,977,785
営業利益又は営業損失(△)	△69,007	144,149
営業外収益		
受取利息	40	85
受取配当金	1,426	2,795
受取手数料	—	1,143
ポイント調整費	—	6,670
投資有価証券売却益	—	2,468
その他	1,994	1,964
営業外収益合計	3,461	15,128
営業外費用		
支払利息	13,449	26,597
その他	232	340
営業外費用合計	13,682	26,938
経常利益又は経常損失(△)	△79,228	132,340
特別損失		
固定資産除却損	208	127
事業構造改善費用	—	116,667
特別損失合計	208	116,795
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△79,436	15,544
法人税、住民税及び事業税	3,124	5,801
法人税等合計	3,124	5,801
当期純利益又は当期純損失(△)	△82,560	9,743
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△82,560	9,743

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	<u>△82,560</u>	<u>9,743</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,901	△15,010
その他の包括利益合計	38,901	△15,010
包括利益	<u>△43,659</u>	<u>△5,266</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	<u>△43,659</u>	<u>△5,266</u>
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,195,768	1,887,556	△3,555,590	△43,241	484,492	△50,552	△50,552	433,939
会計方針の変更による累積的影響額			191,368		191,368			191,368
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,195,768	1,887,556	△3,364,222	△43,241	675,860	△50,552	△50,552	625,307
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△82,560		△82,560			△82,560
自己株式の取得				△10	△10			△10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						38,901	38,901	38,901
当期変動額合計	—	—	△82,560	△10	△82,570	38,901	38,901	△43,669
当期末残高	2,195,768	1,887,556	△3,446,783	△43,251	593,289	△11,651	△11,651	581,637

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,195,768	1,887,556	△3,446,783	△43,251	593,289	△11,651	△11,651	581,637
会計方針の変更による累積的影響額								
会計方針の変更を反映した当期首残高								
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			9,743		9,743			9,743
自己株式の取得				△32	△32			△32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△15,010	△15,010	△15,010
当期変動額合計			9,743	△32	9,711	△15,010	△15,010	△5,299
当期末残高	2,195,768	1,887,556	△3,437,039	△43,284	603,000	△26,662	△26,662	576,338

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△79,436	15,544
減価償却費	197,249	336,258
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△190
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△226	△1,915
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△489	△33,797
受取利息及び受取配当金	△1,466	△2,881
支払利息	13,449	26,597
事業構造改善費用	—	116,667
固定資産除却損	208	127
売上債権の増減額 (△は増加)	12,452	△17,963
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△38,618	97,341
仕入債務の増減額 (△は減少)	90,833	△128,444
未払消費税等の増減額 (△は減少)	56,649	9,152
未払費用の増減額 (△は減少)	22,972	△27,767
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△65	247,467
契約負債の増減額	△14,665	△76,639
前受金の増減額 (△は減少)	△164,684	—
その他	24,948	△92,455
小計	119,091	467,101
利息及び配当金の受取額	1,464	2,881
利息の支払額	△13,198	△26,498
事業構造改善支出	—	△72,748
法人税等の支払額	△5,972	△3,626
法人税等の還付額	165	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,551	367,108
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	5,048
有形固定資産の取得による支出	△12,453	△65,989
無形固定資産の取得による支出	△1,078	△5,230
貸付けによる支出	△3,300	△12,000
貸付金の回収による収入	235	352
差入保証金の差入による支出	—	△19,105
差入保証金の回収による収入	34,481	55,161
長期前払費用の取得による支出	△46,747	△93,497
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,862	△135,260
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	—
長期借入れによる収入	—	—
長期借入金の返済による支出	—	—
株式の発行による収入	—	—
リース債務の返済による支出	△1,858	△3,840
その他	△10	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,868	△3,873
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	70,820	227,974
現金及び現金同等物の期首残高	1,486,004	1,556,825
現金及び現金同等物の期末残高	1,556,825	1,784,800

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる連結計算書類に与える影響はありません。

(会計上の見積もりの変更と区別することが困難な会計方針の変更)(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は有形固定資産の減価償却方法について、期初簿価ベースで97%が定額法を採用していましたが、当連結会計年度より全ての資産(残り3%の資産を追加)を定額法といたしました。

この変更は、従来売上の大半を占めていた百貨店事業から、より収益が安定したテナント業へのウェイトを高めていくに従い、固定資産の使用状況は各連結会計年度において、より長期的かつ安定的に推移すると見込まれるため、定額法による原価償却を行うことがより合理的に有形固定資産の使用実態を反映できると判断したことによるものであります。

これによる当連結会計年度の営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益への影響は軽微であります。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「連結キャッシュ・フロー計算書」の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「預り敷金及び保証金の増減額」「契約負債の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた10,217千円は、「預り敷金及び保証金の増減額」△65千円、「契約負債の増減額」△14,665千円、「その他」24,948千円として組替えております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2022年8月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当軸はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当軸はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2022年8月31日）

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	<u>△32.27円</u>	<u>△33.34円</u>
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	<u>△16.66円</u>	<u>1.97円</u>
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	— 円	<u>1.51円</u>

(注) 1. 前期潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△) (千円)	<u>△79,436</u>	<u>15,544</u>
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	<u>△82,560</u>	<u>9,743</u>
期中平均株式数 (千株)	4,954	4,954

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

## (1) 連結売上高の内訳

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)		当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	2,413,099	94.9	5,199,692	95.7	—	—
アルファトレンド㈱	127,553	5.0	229,850	4.2	—	—
㈱さいか屋友の会	1,360	0.1	1,610	0.0	—	—
小 計	2,452,013	100.0	5,431,152	100.0	—	—
内部売上高の消去	△125,473	—	△226,477	—	—	—
合 計	2,416,540	—	5,204,675	—	—	—

## (2) 店別売上高 (単体)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)		当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	1,184,951	57.2	2,445,712	55.8	—	—
横須賀店	603,783	29.2	1,350,541	30.8	—	—
川崎店	281,806	13.6	582,952	13.3	—	—
小 計	2,070,540	100.0	4,379,206	100.0	—	—
テナント及び手数料収入	342,558	—	820,486	—	—	—
合 計	2,413,099	—	5,199,692	—	—	—

(注) 当社は、2022年8月期より決算期を2月末日から8月31日に変更し、当社グループの決算期を8月31日に統一しております。決算期変更の経過期間である前連結会計年度は、2022年3月1日から2022年8月31日までの6か月の変則決算となっております。このため、対前年増減額及び前年対比については記載しておりません。